

ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区 広報誌
第21号

2018年8月24日
組織拡充委員会

地区協議会で 隊褒彰綬、特別年功章、ローバーハワイ派遣報告会

6月28日(金)、阿佐谷地域区民センターで地区協議会が開催されました。

協議会に先立ち、日本連盟有功記章の伝達があり、登録継続が50年になった杉並9団に団50年章の旗が浅原団委員長に伝達され、隊褒彰綬が下表の通り各隊に伝達されました。

また、5年特別年功章が14名、10年特別年功章が11名、15年特別年功章が9名、20年特別年功章が14名の方々に伝達されました。

表彰後、本年3月に開催されたあすなろ地区ローバーのハワイ派遣について、派遣メンバーの西村福太さん(杉並11団)、沼上志帆さん(中野8団)より、プロジェクトで投影しながら、国際交流の状況の報告がありました。

隊褒彰綬

60年綬	杉並 2団	ボーイ隊	40年綬	杉並 8団	ローバー隊
55年綬	杉並 2団	カブ隊	35年綬	中野11団	ベンチャー隊
50年綬	杉並 3団	カブ隊	30年綬	杉並 3団	ビーバー隊
50年綬	杉並 8団	ボーイ隊	30年綬	杉並 3団	ローバー隊
50年綬	杉並 9団	カブ隊	30年綬	杉並 5団	ビーバー隊
50年綬	杉並 9団	ボーイ隊	30年綬	杉並12団	ローバー隊
45年綬	杉並 4団	ローバー隊	25年綬	杉並 6団	ビーバー隊
40年綬	中野11団	ボーイ隊	25年綬	杉並 8団	ビーバー隊
40年綬	杉並 6団	ローバー隊	20年綬	中野 8団	ベンチャー隊



杉並9団に50年章の旗授与



杉並5団平野健治さんに20年特別年功章



杉並3団太田雄介さんに10年特別年功章



ハワイ派遣の報告



地区協議会長挨拶



地区協議会風景

ひまわりフェスタに初参加

7月16日(月)、セシオン杉並で「ひまわりフェスタ」が開催され、あすなろ地区として初めて参加しました。

「ひまわりフェスタ」は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深めるイベントで、ホールでのアニメ上映、中庭でのかき氷や焼鳥などの屋台、手作り刑務製品の販売がありました。

あすなろ地区は展示室でロープワーク、手触りによるキムスゲーム、魚釣り、輪なげ、空気砲の怪獣倒しゲームを行い、ゲームに参加の保護者、子供たちには、日連や地区のボーイスカウト活動の資料を配布しました。



スカウト救急法講習会

6月24日(日)、午前中は中野消防署で普通救命講習、午後には中野区南部すこやか福祉センターでスカウト救急法講習会が開催されました。

午前中はダミー人形を使った心臓マッサージや、AEDの使い方、異物の除去、止血法の実技が行なわれました。

午後は会場を移して、食中毒、熱中症などの急病の対応、怪我の場所にに応じた三角巾の使い方、患者を運搬する方法の実技などが行なわれました。



ベンチャーフォーラム -私たちにできる社会貢献とは-

7月28日(土)、あすなる地区のベンチャーフォーラムが中野ZEROで開催され、杉並11団、杉並12団、中野5団から9名のベンチャースカウトが参加しました。テーマは「私たちにできる社会貢献とは」で、9月1日(土)と2日(日)、練馬区の開進第二中学校で開催される東京連盟ベンチャーフォーラムに2名が参加します。

アイスブレイキングゲームで緊張をときほぐした後、岡村地区協議会長の基調講演があり、「社会貢献は自らの立場で出来る事を行ない、自己の成長を図り、好奇心を持つこと」の話がありました。

また、社会貢献に何があり、何が出来るかをグループ討議して発表し、具体的な社会貢献の計画を作成しました。

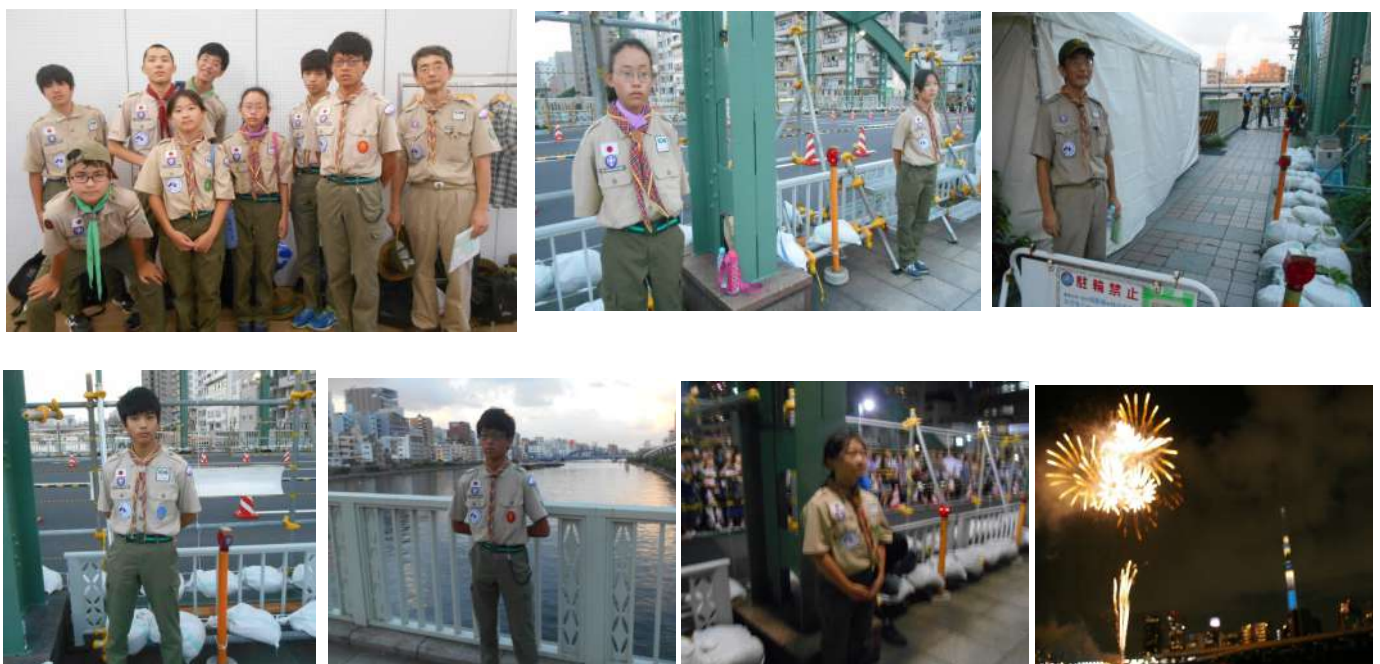


隅田川花火大会の奉仕

7月29日(日)、東京の夏の風物詩「第41回隅田川花火大会」が開催され、杉並5団、杉並9団、中野8団のスカウト、指導者が奉仕を行いました。

花火大会は28日(土)に予定されていましたが、台風12号の影響で順延されたもので、各地区のスカウトとともに、雷門前の浅草文化観光センターに集合し、あすなる地区は厩橋で観客警備や横断歩道の誘導などを担当しました。

午後7時から夜空に大輪の花火が打ちあがり、ライトアップした東京スカイツリーとの対比が見事でした。



ジャンボリー壮行会

7月22日(日)、第17回日本スカウトジャンボリーのあすなろ地区壮行会がゆう杉並で開催され、各団のジャンボリー参加スカウト、指導者などが集りました。

壮行会では主催者を代表して岡村協議会長が挨拶し、来賓として杉並区児童青少年課長の土田昌志さんが挨拶されました。土田さんは幼少時に杉並12団のカブ隊、ボーイ隊で活動し、蔵王で開催された日本ジャンボリーにも参加された経験もあることから、ジャンボリーで多くのことを経験し、学んでいただきたいと激励の挨拶をされました。

また、ジャンボリー参加記念ワッペンをデザインした中野5団の大屋秀輝さんの表彰があり、参加指導者、参加スカウト、大会本部スタッフの紹介が行なわれました。

最後に第17回日本スカウトジャンボリーの歌「能登のチカラ未来へ」を斉唱し、下地コミッショナーの発声による「弥栄三唱」がありました。

散会した後は、参加各隊で集会を開いて最終的な打合せや確認事項の伝達が行なわれ、記念ワッペンや、暑さ対策の麦わら帽子の配布などを行いました。



各団の参加メンバー



17NSJ仕様の東京連盟所属連盟章



岡村地区協議会長の挨拶



杉並区児童青少年課土田課長の挨拶



東京連盟参加隊ネッカチーフを着用



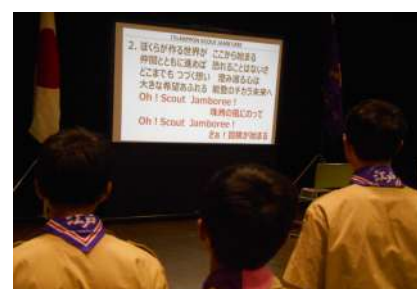
記念品ワッペンデザインの表彰



参加スカウトの紹介



佐藤地区委員長の激励の言葉



「能登のチカラ未来へ」斉唱



隊集会での打合せ



班に分かれて打合せ



麦わら帽子などの受取り

東京連盟17NSJ結団式

7月1日(日)、東京連盟の17回日本スカウトジャンボリーの結団式が豊島区駒込の本郷学園で開催され、ジャンボリーに参加する東京連盟の44個隊のスカウト、指導者、東京連盟関係者が集まり、あすなろ地区からはスカウト3名と指導者4名が参加しました。

式典では山内東京連盟理事長、神田派遣団長の挨拶、連盟旗の授与、ワッペンデザインの表彰、テーマソングの斉唱があり、各地区ごとに全員が前に出て、隊長が挨拶しました。あすなろ地区は構成される23、24、25隊の3個隊を代表して、幹事隊長の小平隊長(杉並12団)が挨拶をしました。

結団式では、東京連盟参加団のネッカチーフ、ジャンボリー用の県連章、参加章などが配布されました。



ジャンボリーの荷物を積込み

7月22日(日)、立正佼成会看護専門学校駐車場で、ジャンボリー参加隊の指導者が集まり、テント、炊事用具、食料品などの資材をトラックのコンテナに積込み、搬出しました。

各団の備品には、赤は杉並2団、茶は中野8団など、団を識別する色のテープ等で目印が付けられました

今後も各団の備品を使用した地区行事も見込まれるため、各団備品に団の識別色を貼布しておけば、他団への混入ミスを未然に防止できることになります。



団	中野8	中野11	杉並2	杉並3	杉並4	杉並5	杉並6	杉並8	杉並9	杉並11	杉並12	杉並13
識別色	茶	オレンジ	赤	青	黒	紫	ピンク	黄	グレー	白	水色	緑



ジャンボリー用の地区Facebookを立ち上げ

あすなろ地区のジャンボリー期間中の活動内容を伝えるため、あすなろ地区Facebookが6月開設されました。

アドレスは <https://www.facebook.com/17NSJasunaro/> です。

あすなろ地区のFacebookは、Facebookの登録者であれば誰でも投稿できるため、ジャンボリー参加者から当日の天気、食事、活動プログラム、各団との交流会の開催など、活動内容の投稿が多く、保護者や参加団のスカウト、指導者にもリアルタイムで伝えることができました。

ジャンボリー期間中の投稿をまとめて見ることもできますので、見逃した方はご覧ください。

第17回 日本スカウトジャンボリー 特集

第17回日本スカウトジャンボリー（17NSJ）が石川県珠洲市の「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」で、8月4日（土）から10日（金）まで開催されました。

大会のテーマは「冒険～能登のチカラ未来へ～」で、能登の地から、能登の力を活かした未来への冒険を行うことをめざしました。

あすなる地区は各団の混成として、地区内の隊名では第1隊、第2隊、第3隊で構成され、東京連盟の隊名では東京23隊、24隊、25隊となり、91名のスカウト、23名の指導者、11名の大会本部スタッフが参加しました。

地区の隊名	構成団	東京連盟の隊名
第1隊	中11、杉6、杉8、杉11	東京23隊
第2隊	中8、杉9、杉12、杉13	東京24隊
第3隊	杉2、杉3、杉4、杉5	東京25隊



参加章

ジャンボリーに参加した、あすなる地区各隊メンバーの活躍の様子をお伝えします。

8月3日（金） 会場に向け出発

あすなる地区ジャンボリー派遣隊のメンバーは、杉並公会堂の横の広場に午後10時に集合しました。

佐藤地区委員長よりの激励の挨拶のあと、参加者は隊毎にバス3台に分乗し、団や地区の関係者、保護者に見送られ、関越自動車道を経由してジャンボリー会場をめざしました。

活気づいていた出発後の車内は、時間が経つにつれて寝息が聞こえるようになりました。



ジャンボリー会場の紹介

ジャンボリーの会場は、石川県珠洲市蛸島町の海や里山に囲まれた「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」で、能登半島の先端になります。

ジャンボリーの参加者は、日本全国のボーイ隊、ベンチャー隊のスカウト、運営スタッフと海外スカウトを合せ、総勢約13,000人です。



ジャンボリー会場は地域別に6つのサブキャンプに分かれ、東京連盟の参加隊のサブキャンプは、関東各地の県連とともに「アドベンチャー」のサブキャンプで、右下会場図では上部の赤紫色部分で、あすなる地区は赤丸の場所になります。

「アドベンチャー」のサブキャンプには、インドネシア、インド、香港、ネパール、マレーシア、アメリカの外国スカウトが配属となりました。

あすなる地区には香港隊のリーダー1名、スカウト6名が配属となり、第3隊にテントを張り、食事は各隊に分かれて、プログラムの参加は香港隊として活動しました。

また大会終了後、香港隊のスカウトは、あすなる地区各団の家庭にホームステイをしました。



8月4日(土) サイトの設営

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE 17th NIPPON SCOUT

あすなろ地区はじめ、全国各地からスカウトが続々とバスでジャンボリー会場に到着しました。

受付を済ませてバスの荷物を積み下ろし、あすなろ地区の各隊キャンプサイトに入りました。3隊合同の開営式のあと、コンテナの備品を積み下ろして、まず日よけとなるマーキーを設営し、午後からA型テントや立ちかまどなどを設営しました。

夕方、香港隊が到着し、宿泊は第3隊の区画に、プログラム・食事等の日中活動は6-7日は第1隊、8日は第2隊、9-10日は第3隊と、合同で行うことになりました。

香港隊スカウトとは英語で会話しましたが、日本語を話せるスカウトもいました。



立ちかまどで夕食の準備

香港隊との初顔合わせ



夕食は中華丼、スープ

8月5日(日) 設営と開会式

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

17th NIPPON SCOUT

朝の食事、点検、セレモニーの流れは各隊共通で、キャンプサイトでのジャンボリー生活が始まりました。午前中は自由時間で、第3隊ではスカウトはしっぽ取りをしたり、シャワーを浴びたりして過ごしました、気温が39°を超え、午後の野外の活動は原則禁止になったため、信号塔やゲートづくりをして、夜はアリーナで開催された開会式に参加しました。



朝食の準備、食事と班サイトの点検

しっぽ取り

信号塔・ゲートの作成

第2隊のサイトには皆の協力で、遠くからも目立つ高い信号塔が立ちました。信号塔は杉並9団ベンチャー隊の菊地直人さんが会場での信号塔作りを提案して、事前に団本部の浜田山教会でジャンボリー参加スカウトを集め、模様の信号塔作りの予行演習もして資材を搬入したものです。



第3隊はゲートを作り、ゲートの旗に香港隊は焼売と叉焼包のキャラクターを、日本スカウトは麻紐を麺にした荻窪ラーメンと杉並のキャラクターなみすけを描き、ゲートに吊り下げました。



開会式



開会式は夜7時よりアリーナで行われ、大会の開会を祝いました。

大会長の日本連盟奥島理事長は「スカウトの気高さ精神を持ち、暑さに負けずに、楽しい活動が続いてくれることを期待します」と挨拶されました。

続いてスカウトのタップダンス、吹奏楽などのパフォーマンス、ちかいとおきての唱和、誓いの炎の点火、大会ソングの作成者紹介などがあり、参加各国の国旗や各連盟の旗が入場しました。



開会式

8月6日(月) 他団、海外隊と交流

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

17th NIPPON SCOUT

朝食の配給のあと、強い雨が降り、大雨の中の朝食となりました。

朝食はご飯、味噌汁、焼きサバ、サラダ、オレンジのデザート、ヤクルトです。

小雨まじりの中でセレモニーを開催し、雨が止んだあとは涼しく、モジュールプログラム参加の快適な一日となりました。



モジュールプログラムに参加



ジャンボリーの期間中、東京連盟の参加隊は右図の5つのモジュールプログラムに半日単位で参加しました。

						8月6日(月)		8月8日(水)		8月9日(木)
						午前	午後	午前	午後	午前
ADVENTURE	DISCOVERY	CHALLENGE	DISCOVERY	ENDAVOR	VENTURE	SATURN AREA	JUPITER AREA	MERCURY AREA	EARTH AREA	VENUS AREA
群馬、東京		長野	滋賀、奈良	山口、徳島、香川、高知	熊本					

モジュールのプログラムは「チームワーク、カルチャー、サバイバル、マリン」のいずれかのテーマが含まれます。あすなろ地区は6日の午前に「サターン」、午後に「ジュピター」、8日は午前に「マーキュリー」、午後に「アース」、9日は午前に「ヴィーナス」で、各モジュールが開催される場所に移動しました。

サターンプログラム ゲーム日本一に挑戦



午前の「サターンプログラム」は、多目的広場、野球場で開催され、「ジャンボリーグゲーム日本一」として指定された「班旗立て」のゲームに挑戦しました。

「ジャンボリーグゲーム日本一」に参加の各班は、BS班とVS班に分け、班員数に応じて、5人班、6人班、7人班、8人班のそれぞれに1位、2位、3位まで表彰されます。

「班旗立て」ゲームは用意された班旗棒に自分達で用意した班旗をつけ、計測用のタコ糸をつけます。

スタートの合図で2mほどの竹や木材をクレモナロープで結び、制限時間の20分以内に15秒以上自立させ、自立後班旗を下ろし、タコ糸の先端から印までの高さを競うルールでした。

第3隊はどの班も班旗を自立させることができず、残念ながら失格となりました。



自立させて高さを競う班旗立てゲーム



午後のジュピター会場に移動



スリングショット



ゴールドドッジ



セバタクロ

ジュピタープログラム 班の協力が決め手



午後は「ジュピタープログラム」で、班の協力・連携が必要な「竹材運びレース」や「丸太登りレース」などのプログラムを体験しました。

丸太登りでは、登りやすいようにスタートからはだしで走る作戦の班もありました。



竹材運びレース



圧倒的強さの第2隊ベンチャー班



丸太に登って先端に帽子を乗せるレース



ハンドアイ手旗筆記号に挑戦



第1隊ベンチャー班



ウェイトチョイス

第3隊はプログラムのあと、香港スカウトとサッカーで交流し、好プレー、珍プレーの続出で盛り上がり、結果は終了間際に香港チームが決勝点をあげて勝ちました。

その後はワッペンや名刺の交換をして、お互いの距離が一気に縮まりました。



各県・各国との交流

夜、第1隊は香港隊スカウトとの交歓会をキャンプサイトで開催し、歌やゲームを楽しみました。その後、第1隊は「ディスカバリー」で長崎、大阪、滋賀や台湾など、総勢200人を越える交歓会を開催しました。



第2隊は「エンデバー」のキャンプサイトで、山口と岡山のスカウトとの交流会を行いました。



第3隊は「フューチャー」のキャンプサイトで、大分のスカウトとの交流会を行いました。



8月7日(火) 信仰奨励とジャンボリー大集会

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

朝食の配給の長い列が午前5時ごろから並びはじめます。朝食はししゃも、豆腐、キュウリとワカメ、ふりかけ、ヤクルトなどです。

朝のセレモニーに続いて、「信仰奨励の日」とジャンボリー大集会の一日が始まりました。



スカウトウンサービ



7日は信仰奨励の日として、午前中に教宗派を超えた集いと、各教宗派にわかれて集いや宗教儀礼が行なわれました。

浜田山キリスト教会を母体とする杉並9団ローバー隊長の津村道夫さんは、信仰奨励の日について、「スカウトのちかひの一番はじめにある「神（仏）に誠を尽くす」ことについて、心を寄せるひとときです。当日は各自・各団の考えに基づき、各宗教宗派の宗教儀礼に参加、あるいは宗教宗派を超えた「平和」をテーマにした集いに参加しました。

地区にあるキリスト教会が母体の団は、カトリックとプロテスタントに分かれて、それぞれの形式で礼拝を行いました。讃美歌を歌い、神父／牧師がスカウトに向けてお話をしてくださいました。スカウト一人ひとりが神を想う時となりました。」と話していただきました。



プロテスタントの礼拝



カトリックの礼拝



友情ゲーム そなえよつねに

午後の友情ゲームは参加者全員で行うゲームで、「そなえよつねに」の各文字のカードを1枚ずつ持って仲間を探し、全文字を揃えるものです。

最初は知らないスカウトとのコミュニケーションに緊張していたスカウトも、ゲームを通じて緊張もほぐれ、出会ったばかりの全国のスカウトや各国のスカウトとループの結びつきができて仲良くなり、心の交流ができました。



信号塔の仕上げ

第2隊は信号塔に屋根をつけ、5色の布を飾るなど、最後の仕上げをしました。



ジャンボリー大集会 皇太子殿下が臨席

夜のジャンボリー大集会は「ミライのチカラ」をテーマに、アリーナで参加者が一堂に会しました。

皇太子殿下が臨席されてお言葉をいただき、スカウトOBで宇宙飛行士の野口聡一さんのスピーチもありました。

地元能登の「御陣乗太鼓」や加賀の鳶はしご登りをはじめ、四国の阿波おどり、沖縄のエイサーなど各地の郷土芸能が披露され、歌手の吉田山田のライブなど、会場全体が盛り上がりました。



8月8日(水) 鉢ヶ崎海水浴場へ

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE

17th NIPPON SCOUT

マーキュリープログラム



8日は久しぶりの快晴で、午前中のマーキュリープログラムは鉢ヶ崎海水浴場の海と砂浜で展開され、海水浴も楽しむことができました。鉢ヶ崎海水浴場は遠浅で、白い砂浜と松林が連なり、「日本の渚・百選」にも選ばれており、気持ちよく海水浴ができました。

綱引き、ビーチフラッグやサンドアートなどのプログラムがあり、サンドアートプログラムは国自慢の作品を砂で作ることが課題で、第1隊フクロウ班は杉並区キャラクターの「なみすけ」を作りました。



那須の与一 ～これが本当の弓だ～



ビーチフラッグ

海辺で水遊び



砂浜の見事な作品、「なみすけ」のサンドアート



枠内の9つの的をボールを投げて当てるストラックアウトゲーム

アースプログラム



午後はアースプログラムで、テニスコートとグラウンド・ゴルフ場を使用して、「ジャンボリーゲーム日本一」をめざして挑戦しました。

「電波が届かない！手旗で伝言せよ」ゲームは、指示された内容を手旗で次の班員に順次リレーで伝え、15分以内に正しく伝えるゲームでした。

「コンパスナビゲーション」は、指示書に記された方位角に従ってコーンのポイントに進み、カードに記された文字を記録するゲームでした。

参加した各班の成績の順位は当日は不明でしたが、最終集計でボーイ7人班の「コンパス」ゲームで第1隊オオカミ班が第2位となり、またボーイ5人班で杉並6団と8団の合同班が第3位の優秀な成績をおさめ、表彰されることになりました。



グラウンド・ゴルフ

コンパスナビゲーション

涼しさ満喫 流しそうめん

第2隊の夕食は「躍動」の食事、夏の祭典である「流しそうめん」で、皆で作った割竹に流れるそうめんを参加した香港隊のスカウトとともにすくい、暑さの中でしばし涼しさを味わいました。



各地の隊と交歓会

第1隊は「チャレンジ」サブキャンプで、愛知8隊と交歓会を行いました。



第2隊は「ディスカバリー」サブキャンプに出かけて、大阪と愛知との交歓会を行いました。



第3隊は埼玉派遣団と交歓会を行いました。はじめは全員ゲームでリラックスするなど、プログラムの作成から司会進行まで、すべてをベンチャースカウトが担当しました。

ゲームの後は、かき氷やフルーツポンチを食べながら各々写真を撮るなど、一体感のある交歓会になりました。





第2隊セレモニー



第1隊は地区のぼり旗に寄せ書きをして香港隊に進呈

ヴィーナスプログラム



午前中のヴィーナスプログラムは「わくわく夢らんど」で、ジャンボリーの目的に賛同する企業や団体が提供するプログラムを巡りました。

午後から撤営作業に入り、テントや立ちかまどを解体してコンテナに荷詰めしました。

炎天下のため、15分作業をすると、15分は日陰で横になったり、差し入れのスイカを食べて、元気を回復しました。



閉会式



閉会式は19時からアリーナで開催され、次回の2022年に開催する「第18回日本スカウトジャンボリー」は、ボーイスカウト日本連盟100周年となりますが、東京で開催されることが発表され、今回開催の石川県連盟から東京連盟にジャンボリー旗の引き継ぎが行なわれました。

舞台ではジャンボリー中の思い出のスライドが映し出され、ジャンボリーのテーマソングを歌ったり、「ほくりくアイドル部」が登場すると、会場のボルテージが一気に上がりました。

最後に会場の夜空に大輪の花火が次々と上がり、ジャンボリーの幕が下ろされました。



8月10日(金) 最終日・帰京

17th NIPPON SCOUT JAMBOREE 17th NIPPON SCOUT

第1隊では誇らしいことに、「ジャンボリーゲーム日本一」の班対抗の「コンパス」ゲームボーイ7人の部で、オオカミ班が第2位、また杉並6団と8団の合同班がボーイ5人班の部で第3位となり、優秀な成績で表彰され、「ジャンボリーゲーム日本一章」が授与されました。



第2隊では、これまで隊のメンバーと一緒にジャンボリーの活動に参加し、キャンプ生活してきた香港隊の出発を全員で見送りました。



バスで帰京

隊の閉会式を終え、ジャンボリー会場には感謝を残して、数多くの思い出とともにバスで出発しました。ジャンボリーで交流を深めてきたメンバーは、バスの中でも終始盛り上がりました。

帰路は渋滞がありましたが、予定よりも1時間ほど早い午後9時前に杉並公会堂前に到着し、団関係者、保護者など、おおぜいの出迎えを受けました。

佐藤地区委員長の出迎えの挨拶、「ジャンボリーゲーム日本一」で表彰された班の紹介と弥栄の祝声が行なわれ、解散して家路につきました。

